

## 授業科目

## 救急病態生理学

担当教員名 鈴木 力	対象学年	2	対象学科	救急
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	

## 授業の概要

救急の現場で経験される病態の中でも患者の生命に直接関わる重度の病態については、特に理解を深めておく必要がある。本科目では、このような患者の生命に直接関わる重度の病態として、呼吸不全、心不全、ショック、重傷脳障害、心肺停止について、それぞれの病態生理、観察・評価、鑑別とともに救急対応を学習する。

## 授業の目的

1. 患者の生命に直接関わる重度の病態として、呼吸不全、心不全、ショック、重傷脳障害、心肺停止について、それぞれの病態生理を理解するとともに、観察・評価、鑑別および救急対応に関する専門的な基礎知識を習得する。  
本科目で学習する内容は、救急症候学および疾病救急医学で学ぶ内容と表裏一体のものであることから、これらを統合した理解が求められる。

## 学習目標

1. 患者の生命に直接関わる重度の病態として、呼吸不全、心不全、ショック、重傷脳障害、心肺停止について、それぞれの病態生理を理解するとともに、観察・評価、鑑別および救急対応に関する専門的な基礎知識を習得する。  
本科目で学習する内容は、救急症候学および疾病救急医学で学ぶ内容と表裏一体のものであることから、これらを統合した理解を目標とする。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	呼吸不全（1）	講義	鈴木 力
2	呼吸不全（2）	講義	鈴木 力
3	心不全（1）	講義	鈴木 力
4	心不全（2）	講義	鈴木 力
5	ショック（1）	講義	鈴木 力
6	ショック（2）	講義	鈴木 力
7	ショック（3）	講義	鈴木 力
8	ショック（4）	講義	鈴木 力
9	重症脳障害（1）	講義	鈴木 力
10	重症脳障害（2）	講義	鈴木 力
11	重症脳障害（3）	講義	鈴木 力
12	心肺停止（1）	講義	鈴木 力
13	心肺停止（2）	講義	鈴木 力
14	心肺停止（3）	講義	鈴木 力
15	まとめ	講義	鈴木 力

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 下巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	9,800円+税	1年次購入済
参考書						
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。					

## 評価方法

科目試験（100%）

不合格者に対しては、1回再試験を行う。

必要な場合、レポートを課し、その結果も評価対象とする。

#### **履修上の留意点**

本科目では、基本的事項を効率よく理解するために、指定の教科書を使用する。

授業前に教科書を熟読しておくこと。授業中は、講義内容を理解し、重要な事項はその場で頭に入るように配慮した講義を行うので、ノートはとらず、メモ程度にして考えるゆとりを作る。授業後の復習も必須である。

#### **オフィスアワー・連絡先**

水曜日12時～13時。その他、連絡していただければ、適宜時間を調整します。

E-mail : tsutomu-suzuki@nuhw.ac.jp